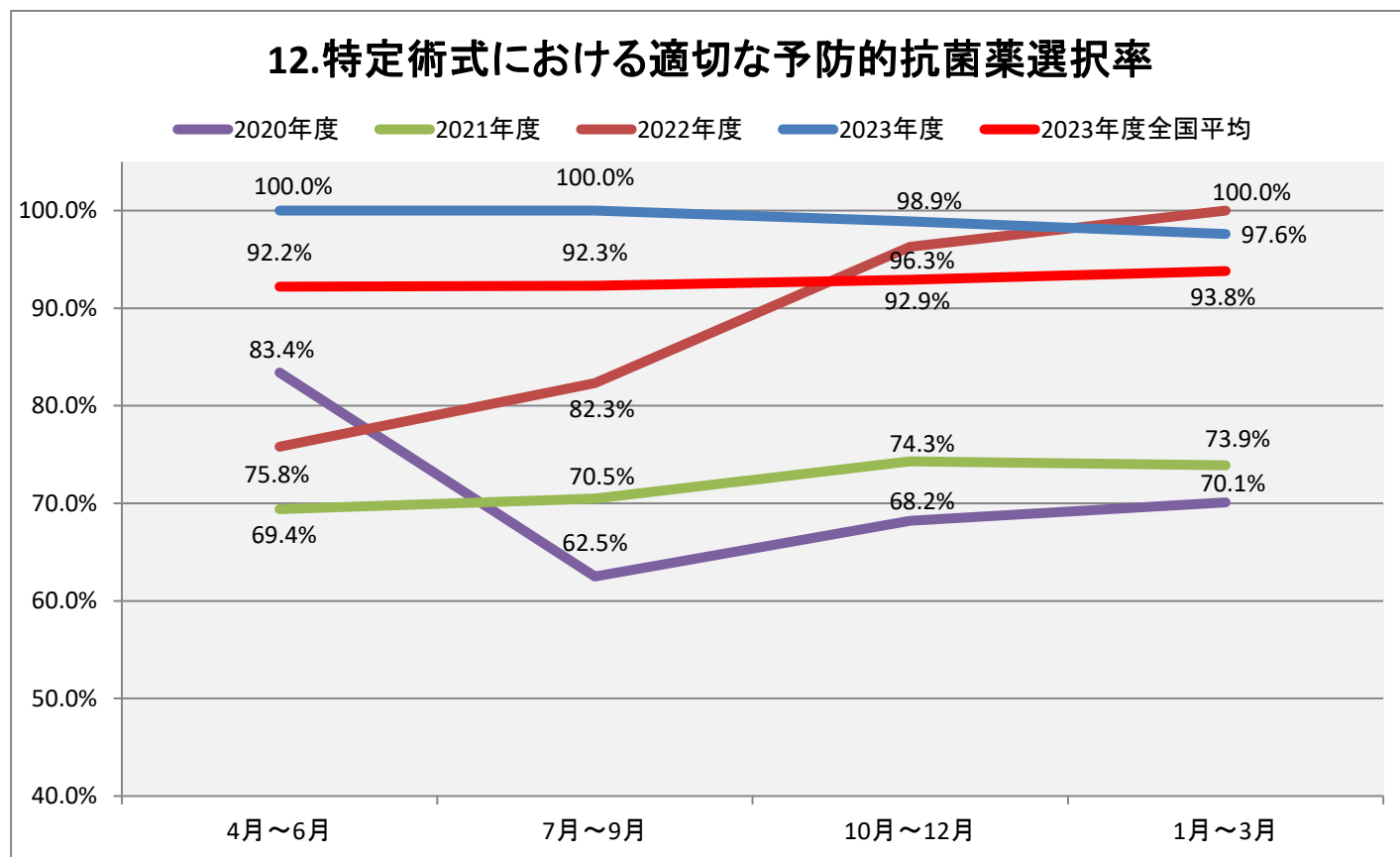


## 12. 特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率

### (1) 調査結果



| 調査期間       | 4月～6月  | 7月～9月  | 10月～12月 | 1月～3月  |
|------------|--------|--------|---------|--------|
| 2020年度     | 83.4%  | 62.5%  | 68.2%   | 70.1%  |
| 2021年度     | 69.4%  | 70.5%  | 74.3%   | 73.9%  |
| 2022年度     | 75.8%  | 82.3%  | 96.3%   | 100.0% |
| 2023年度     | 100.0% | 100.0% | 98.9%   | 97.6%  |
| 2023年度全国平均 | 92.2%  | 92.3%  | 92.9%   | 93.8%  |

### (2) 指標の説明

手術後に、手術部位感染が発生すると、入院期間が延長し、入院医療費が増大します。その予防策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があります。手術開始から終了後2～3時間まで、体内の抗菌薬濃度を適切に保つことで、感染を予防できる可能性が高くなります。

### (3) 定義

分子：術式ごとに適切な予防的抗菌薬が選択された手術件数  
分母：特定術式の手術件数

※特定術式・・・股関節人工骨頭置換術、膝関節置換術、大腸手術、子宮全摘除術、冠動脈バイパス手術、その他の心臓手術、血管手術